

○ 研修講師としての視点

- ・ 研修の実施状況（内容，対象，頻度等）
公務員 2：医療関係者 3：市民講座 5
- ・ 理解が進んでいる又は理解が進んでいないと考えられる内容
公務員研修自体はまだまだ少ない
- ・ 受講者の反応，要望等
『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』
『新しい「公用文作成の要領」に向けて』 の効果は感じる。
- ・ 必要と考える対応策
ひどい文書をチェックする課の設定、そしてそれを注意する権限の付与

○ 話し言葉のやさしい日本語の普及に当たって必要な留意事項

- ・ 「公務員のための外国人対応」に記載している内容の紹介

◎技術論は大事

漢語は和語に

尊敬・謙譲は外す

一文は短く

翻訳アプリの活用

コミュニケーションボードの活用

◎態度の問題は大きい（柳田 2020）

積極的な参加態度

落ち着いた態度

相手に合わせた適切な説明

参考 柳田 直美（2020）「非母語話者は母語話者の〈説明〉をどのように評価するか：評価に影響を与える観点と言語行動の分析」『日本語教育』177, 17-30